

参加報告

関東ろうあ者相談員連絡会に参加しました

8月22日(火)、第2回関東ろうあ者相談員連絡会が東京都障害者福祉会館にて開催され、18人の参加があり、当施設から3人が参加しました。「障害福祉サービスなどの利用計画の相談や作成のための相談支援専門員」、相談支援専門員として実務を行っている3事業所の会員から、制度の概要や事業所間の運営の比較など、実務を踏まえての講演がありました。また、全国ろうあ者相談員研修会や第3回連絡会の内容等について意見や情報交換が交わされました。

横浜市総合防災訓練に参加しました

8月27日(日)、令和5年度横浜市総合防災訓練がラポール隣の日産スタジアム駐車場を会場として開催されました。この総合防災訓練は、市民や防災関係機関の連携強化と、地域の防災力の向上を目的に行われているものです。

今回、横浜市障害者社会参加推進センターが展示エリアにブースを出展し、来場者に向けて障害者に関わる啓発活動をおこないました。(一社)横浜市聴覚障害者協会を中心に5つの関係団体で組織している「聴覚障害者災害救援横浜市域本部」は、同ブースの中でミニ手話講座を実施しました。猛暑の中ではありましたが、多くのご家族連れがお立ち寄りくださり、有意義な活動ができました。来年度の訓練にも参加の予定です。



事業報告

聴覚障害者のための健康学習会を実施しました

今年度第1回の健康学習会を9月22日(金)にラポール上大岡にて、10月4日(水)に横浜ラポール(新横浜)にてそれぞれ開催し、合計19人の参加がありました。新横浜では、今回初めての開催となりましたが、健康学習会に初めて参加する方も多く、2か所での開催にした意義を感じました。



<横浜ラポール>



<ラポール上大岡>

今回は、「口の健康」というテーマで、栄養士から噛むことの大切さや歯周病ケアについて話をしました。また、言語聴覚士から飲み込みについての話を聞き、誤嚥を防ぐための口の体操を行いました。スポーツ指導員からは、食べる時に良い姿勢を保つための運動を指導しました。

第2回健康学習会は、ラポール上大岡:11月17日(金)、横浜ラポール:12月4日(月)で開催します。テーマは「腸の健康」です。2回目からの参加でもかまいません。興味のある方は、ぜひ当施設にお問い合わせください。

手話通訳者課題別研修「県議会・市長定例記者会見

これまでの振り返りと今後について」を実施しました

8月26日(土)、ラポールシアターにて、上記内容で研修を行い、34人の参加がありました。講師は、昨年度に引き続き日本手話通訳士協会の草野真範氏にお願いしました。

昨年度は同講師より、オンラインで映像・配信通訳のポイントをお話いただき、今年度は、その内容をふまえて、実技を中心にご指導をいただきました。各グループにカメラ(タブレット端末)を1台準備し、一人ずつカメラに向かっての通訳を体験し、その後、すぐに撮影した映像を見ながらグループで振り返りを行いました。経験者はよりスキルアップができるように、未経験者は配信通訳に慣れてもらうことを目的に実技を行いました。



講師からは、参加者の通訳の様子を見て「軸がぶれないように」や「通訳者同士のフォローのしかた」等、具体的なアドバイスをその都度いただきました。参加者は、それを活かした通訳ができるよう工夫をしたり有意義な時間となりました。今回の研修を受けて、今後、県議会や市長会見等、映像通訳を担当いただく予定です。

要約筆記者現任研修を実施しました

9月13日(水)、上記研修を実施しました。パソコン研修では経験別に分かれ、講演会や行政主催の市民説明会を想定した、実践に近い研修を行いました。事前資料や原稿の有無、また当日の配布資料やスライドの活用、そして利用者が不特定多数か個人か、現場ごとに異なる条件に応じて、いかに適切に判断し対応すべきかを考える研修となりました。

手書き研修では横浜市中途失聴・難聴者協会のご協力で、利用者の視点からご意見をいただきながら研修を行いました。

「文字や表記の乱れは理解にくさに直結する」という基本のご指摘や「どう要約するかで話が軽くも重くもなる」という意見に、日々の現場での意識の持ち方を考えさせられました。

また、登録1年次向けの研修も10月3日をもって全カリキュラム(パソコン7回、手書き5回)を終えることができました。夏前からすでに派遣現場での業務をスタートしていますが、今後も現任研修等でのスキルアップを積み重ねていきたいと思えます。



手話通訳者全体研修

「手話言語学入門と子どもの手話評価」を実施しました

9月30日(土)、金沢大学人間社会研究域学校教育系教授 武居渡先生を講師に、「手話言語学入門と子どもの手話評価」をテーマにお話しいただきました。講師は手話に関わる心理学・言語学的な研究、特にろう児の手話獲得プロセスに関する研究をされています。講義はオンラインで実施し、手話通訳者118人の参加がありました。

前半は手話言語学の観点から、言語の背景にある文化と社会について、また手話へのよくある誤解について解説いただきました。後半は講師の最近の研究トピックである、ろう児の手話文法の理解度合や語彙流暢性を評価する検査の日本語版作成について、その過程や難しさをお話しいただきました。

言語学的な説明を聞き、改めて自分の手話やろう者との関わりを振り返って「そういうことだったのか」と納得するところがありました。「手話言語学の学習は手話通訳者には必須」との講師のお言葉もあり、今後も同様の研修会を開催していきたいと思えます。

年末年始の緊急時について

年末年始は多くの医療機関が休診となりますので、各区にある休日急患診療所をご利用ください。
日本財団電話リレーサービス（無休/24時間）を利用した緊急通報や問い合わせが可能です。

機関名	FAX番号	電話番号	対応時間	手話通訳
横浜市消防局	119（横浜市内）	119	無休/24時間	○
神奈川県警察	0120-110221	110	無休/24時間	○
横浜市救急相談センター	045-242-3808	045-232-7119	無休/24時間	×
横浜市コールセンター	045-664-2828	045-664-2525	無休/8時～21時	×



（9月末までの累計）

■通訳者の派遣・紹介人数

■聴覚障害者の相談

内容	手話通訳	要約筆記	合計	昨年同月	相談事業	実件数	対応数
医療・保健	2,895	36	2,931	2,744	医療	71	139
司法	15	2	17	28	職業	27	43
教育・保育	446	4	450	382	教育	0	0
労働・雇用	275	43	318	322	住宅	26	70
社会生活	567	23	590	543	生活	168	317
自己啓発	106	59	165	115	福祉	125	211
福祉推進	483	477	960	1,103	法律	12	16
介護保険	1,065	0	1,065	985	聞こえ	48	50
他都市	36	7	43	20	合計	477	846
合計	5,888	651	6,539	6,242	昨年同月	554	844
昨年同月	5,604	638	6,242				

■通訳者の現任研修

■映像・字幕制作

手話	回数	18	参加人数	435	自主制作作品数	38
要約筆記	回数	18	参加人数	260		



9月

- 手話1年次研修
- 出前講座(柏尾地区民児協)
- 手話1年次研修
- 特殊健康診断医療機関訪問
- 情提協議会意思疎通支援委員会(オンライン)
- 茅ヶ崎市研修講師対応
- 横浜市相談支援研修受講
- 手話課題別研修
- 手話ブラッシュアップ研修
- 機器点検
- 要約筆記者現任研修
- アステムとの情報交換会(オンライン)

- 聴障者対象健康学習会(ラポール上大岡)
- 市議会局との協議
- 手話ブラッシュアップ研修
- 衛生委員会
- 災害対策市域委員会会議
- 要約筆記者1年次研修
- 主管課定例会議
- 区役所配置通訳者説明会(オンライン)
- 手話全体研修・通訳者連絡会(オンライン)
- 手話養成I講義講師対応(横聴協)

10月

- 手話養成II講義講師対応(横聴協)
- 横聴協青年部との協議
- 要約筆記者1年次研修
- 聴障者対象健康学習会(新横浜ラポール)
- 4~5 定期健康診断

- 香川県情提研修会講師対応
- ラポールの日2023
- ろう学校運営協議会
- 要約筆記者現任研修
- 定期健康診断
- 手話全体研修・通訳者連絡会(オンライン)
- 全国障害者スポーツ大会結団式
- 手話2年次研修
- 17~18 情提協議会映像制作担当者研修会(オンライン)
- 19~20 情提協議会委員会・理事会(大阪)
- 衛生委員会
- 主管課定例会議
- 26~31 全国障害者スポーツ大会選手団帯同(鹿児島)
- 30~31 防火防災研修受講
- 30 出前講座(釜利谷地区民児協)

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェブ》

発行日:令和5年10月31日

発行者:(社福)横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 TEL.045-475-2057 FAX.045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>